

## Be Happy ! その90

### インターンシップ発表会 1年次の生徒の成長を感じる。 地域の事業所さまに感謝。

総合学科の学びの特色ある学びの、1年次「産業社会と人間」の教科で、インターンシップの3日間を体験するカリキュラムがあります。10月25日(水)・26日(木)27日(金)の3日間。1年次の241名全員が、それぞれの受入れ事業所さまで多くの体験学習を展開しました。受入れ事業所さまは81事業所でお世話になりました。

発表会は、12月1日(金)5、6限で、お世話になった事業所(9事業所 15名)さまや数人の保護者の方(11名)が、それぞれの発表会場に、わざわざ足を運んでくださいました。

13時10分より、発表会のご参加者の事業所と打ち合わせをするなか、3日間お世話になりました御礼と、発表会が数日延期された理由や、インターンシップの目的、一生ものの人間力などを校長から挨拶を申し上げ、1年次野田主任から、生徒が働くことの意義を自覚して大きく成長した御礼を込めた挨拶がありました。

私は、会場で数人の発表を聞きました。私の念頭にあるテーマは、「記録会や報告会では無く、発表会として生徒が一生ものの人間力(R4年度、生徒会が本校で身に付けたい人間力として①発見力 ②挑戦・継続力 ③情報収集・分析力 ④貢献・協働する力 ⑤コミュニケーション能力 ⑥感謝力 ⑦自己肯定力 ⑧自信)をどのように身に付けたか？」が如何に発表されるか内容でした。

生徒は、インターンシップ実施にあたり、必要とされるマナーについての講義を外部講師から受けて3日間に臨みました。本日の発表会には、事前にパワーポイントを作成し、読み原稿は発表時には見ることはせずに、ノー原稿で、自分の言葉で表現、説明していました。

発表する時の生徒は、緊張感MAXで、声も小さく、自信なさそうな生徒もいましたが、一生懸命に取り組む純粋な姿が垣間見ることができました。なかには、逆に自信満々と堂々と大きな声でプレゼンしている生徒もいました。すべての生徒に言えることは、インターンシップに参加して、事業所さまのご理解とご支援のもと、教室や教科書では学べない貴重な体験ができ、多くのことを学び、大きく成長する一歩となったことは確信できました。大きな手応えを感じ、流石、23期生だと頼もしく感じました。

足を運んでくださった事業所さまの発表者に対する質問やコメントで「本人さんたちは、さらりと報告していましたが、電話対応もしてもらいましたが、対応数が増えてくるとしっかりと電話対応ができていたことに感心しました。」私は「えっ!!電話対応もさせていただいたの?対応した生徒も立派だが、体験させてくださった事業所さまに敬意と感謝」の気持ちで一杯になりました。

さらに、「インターンシップの時より、発表する姿が堂々して、大きく成長した姿を見ることができました。ありがとうございました。」とコメントをもらい、御礼を申し上げるのは加古南、私どもですと心で呟きました。

加古南の教育活動は、一生ものの人間力を育てていただいている地域の皆様に支えられ、また、それに純粋で、健気に、誠実に加古南生が応えようとしています。両者を目の当たりにして校長として大いに Be Happy。

